

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年5月14日

上場会社名 オールエル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7670 URL https://www.owell.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飛戸 克治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 大野 善崇 (TEL) 06-6473-0138
 定時株主総会開催予定日 2021年6月23日 配当支払開始予定日 2021年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (決算動画説明(録画) 配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	54,621	△15.3	△74	—	119	△87.0	398	△23.6
2020年3月期	64,508	△0.3	736	△41.3	916	△35.4	521	△45.5
(注) 包括利益	2021年3月期		2,984百万円(—%)		2020年3月期		161百万円(618.1%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	38.51	—	2.1	0.3	△0.1
2020年3月期	50.41	—	3.0	2.1	1.1
(参考) 持分法投資損益	2021年3月期	△0百万円	2020年3月期	11百万円	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	44,563	20,199	45.1	1,941.09
2020年3月期	41,629	17,337	41.4	1,664.34
(参考) 自己資本	2021年3月期	20,081百万円	2020年3月期	17,214百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,684	164	△238	6,067
2020年3月期	△1,577	△434	△453	4,474

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00	227	43.6	1.3
2021年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00	124	31.2	0.7
2022年3月期(予想)	—	5.00	—	12.00	17.00		44.0	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,000	21.5	150	—	200	—	130	—	12.57
通期	62,000	13.5	500	—	600	404.2	400	0.4	38.67

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名） — 、除外 一社（社名） —

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	10,500,000株	2020年3月期	10,500,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期	154,377株	2020年3月期	156,985株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	10,344,665株	2020年3月期	10,343,029株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動が大きく制約されました。2020年5月の緊急事態宣言解除後、第2四半期以降、企業の生産や出荷は緩やかに回復傾向となりましたが、第1四半期の落ち込みを回復するまでには至りませんでした。

当社グループが主に関連する塗料業界におきましては、日本塗料工業会の集計によりますと、2021年2月時点で出荷数量では前期比11.8%減の119万トン、出荷金額では前期比12.6%減の4,582億円となりました。

当社グループはこのような状況の中においても、当社グループのコア事業である塗料関連事業と電気・電子部品事業のシナジーを高め、お取引様の課題解決に的を絞り、新型コロナウイルス感染症拡大の収束後の世界にも通用する価値を提供して、新たな需要を創造していくとともに、やりがいと誇りを持てる企業となるべく、努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高は54,621百万円(前年同期比15.3%減)、営業損失は74百万円(前年同期は営業利益736百万円)、経常利益は119百万円(前年同期比87.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は398百万円(前年同期比23.6%減)となりました。

塗料関連事業では、新型コロナウイルス感染症の拡大により、主たるお客様である自動車メーカーの生産停止や生産減がありました。また、2020年5月に緊急事態宣言が一旦解除されて以降、主たるお客様である自動車メーカーやその他の産業のお客様における生産は、緩やかに持ち直してきておりましたが、前連結会計年度と比べ、生産が減少したことから、売上は減少しました。

その結果、塗料関連事業の業績は、売上高は前年同期比16.5%減の41,170百万円、セグメント利益は前年同期比36.4%減の1,404百万円となりました。

電気・電子部品事業においても、塗料関連事業同様、新型コロナウイルス感染症の拡大により、主要商品であるホールICや車載モジュールなどの出荷が減少した結果、売上が減少しました。

その結果、電気・電子部品事業の業績は、売上高は前年同期比11.6%減の13,450百万円、セグメント利益は前年同期比35.0%減の124百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末の28,144百万円に比べ1,113百万円(4.0%)減少し、27,030百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が1,593百万円増加し、受取手形及び売掛金が1,470百万円、たな卸資産が878百万円、電子記録債権が242百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末の13,485百万円に比べ4,047百万円(30.0%)増加し、17,532百万円となりました。その主な内訳は、投資有価証券が3,315百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末の19,909百万円に比べ524百万円(2.6%)減少し、19,385百万円となりました。その主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金が600百万円増加し、支払手形及び買掛金が1,065百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末の4,382百万円に比べ596百万円(13.6%)増加し、4,978百万円となりました。その主な内訳は、繰延税金負債が1,186百万円増加し、長期借入金600百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末の17,337百万円に比べ2,861百万円(16.5%)増加し、20,199百万円となりました。その主な内訳は、その他有価証券評価差額金が2,316百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は6,067百万円と、前期末と比べ1,593百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、1,684百万円の収入となりました。これは主に、仕入債務の減少額1,028百万円の支出、税金等調整前当期純利益665百万円及び売上債権の減少額1,677百万円の収入によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、164百万円の収入となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入588百万円及び固定資産の取得による支出364百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、238百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払124百万円及び短期借入金の純減少額71百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の経済情勢につきましては、国内経済においては、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、下振れリスクを抱えつつ推移していくと推測されます。海外経済においても同様であり、今後の国内外の景気動向は、ワクチン接種の開始による経済活動の正常化に向けた動きがあるものの、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響に左右されるため、不透明な状況が続いていくと推測されます。

当社グループはこのような状況のもと、2021年度を初年度とし、2023年度を最終年度とする中期経営計画を策定致しました。「ものづくり現場のパートナーとなり、人々の未来を豊かにするー We are O-Well! ー」をビジョンとし、当社グループが、お取引先様とともにつくる製品やサービスが、世界中の人々の生活を豊かにしていき、それが将来にわたって永続することを目指してまいります。そのためにも、マーケティング活動を強化し、当社グループのコア事業である塗料関連事業と電気・電子部品事業のシナジーを高め、ものづくり現場のデジタル化、グローバル化を推進し、お取引先様の課題解決に的を絞って、新型コロナウイルス感染症拡大の収束後の世界にも通用する価値を提供して、新たな需要を創造していくとともに、事業活動を通じてSDGsに貢献してまいります。また、これらの事業を展開する上で、事業構造や経営資源の配分を抜本的に見直し、収益体質の強化を図ります。

塗料関連事業は、ニューノーマル(新常态)に対応した企業活動の変化が求められる中、お取引先様への当社グループの提供価値を変革することに取り組むとともに、塗装現場管理システム(OLDAS)の実用化と収益化の実現に向け開発・推進を加速させてまいります。

電気・電子部品事業は、従来の自動車向けセンサーであるホールICの販売に加えて、自動車のCASEやDXのトレンドを掴み、当社独自のモジュールやソフトウェアビジネスの展開をしてまいります。

また、海外事業の展開については、今後のグローバル経済の行方を読みながら、現在展開している海外拠点の配置や連携を踏まえて、新しいビジネスの創造を企画・検討してまいります。

2022年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は62,000百万円（当期比13.5%増）、営業利益は500百万円（当期は営業損失74百万円）、経常利益は600百万円（当期比404.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は400百万円（当期比0.4%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当社の連結財務諸表は、日本基準に基づいて作成しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,474	6,067
受取手形及び売掛金	14,151	12,681
電子記録債権	3,857	3,614
たな卸資産	5,033	4,154
その他	640	527
貸倒引当金	△13	△15
流動資産合計	28,144	27,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,245	1,379
機械装置及び運搬具（純額）	83	106
工具、器具及び備品（純額）	86	69
土地	1,968	1,968
リース資産（純額）	55	73
建設仮勘定	89	—
有形固定資産合計	3,529	3,598
無形固定資産		
ソフトウェア	74	75
のれん	22	9
その他	42	237
無形固定資産合計	139	322
投資その他の資産		
投資有価証券	9,275	12,591
長期貸付金	97	87
退職給付に係る資産	29	516
繰延税金資産	96	100
その他	385	388
貸倒引当金	△68	△73
投資その他の資産合計	9,816	13,610
固定資産合計	13,485	17,532
資産合計	41,629	44,563

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,643	14,577
短期借入金	2,021	1,943
1年内返済予定の長期借入金	500	1,100
未払法人税等	108	120
賞与引当金	430	433
品質保証引当金	81	46
その他	1,125	1,163
流動負債合計	19,909	19,385
固定負債		
長期借入金	1,850	1,250
退職給付に係る負債	163	185
役員退職慰労引当金	85	93
繰延税金負債	1,996	3,182
資産除去債務	45	42
その他	242	224
固定負債合計	4,382	4,978
負債合計	24,291	24,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	857	857
資本剰余金	760	760
利益剰余金	10,940	11,214
自己株式	△87	△86
株主資本合計	12,470	12,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,859	7,175
繰延ヘッジ損益	△3	△17
為替換算調整勘定	△2	△11
退職給付に係る調整累計額	△109	188
その他の包括利益累計額合計	4,743	7,335
非支配株主持分	123	117
純資産合計	17,337	20,199
負債純資産合計	41,629	44,563

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	64,508	54,621
売上原価	56,447	47,847
売上総利益	8,060	6,774
販売費及び一般管理費	7,324	6,848
営業利益又は営業損失(△)	736	△74
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	224	166
持分法による投資利益	11	—
助成金収入	—	57
その他	34	43
営業外収益合計	274	273
営業外費用		
支払利息	39	28
コミットメントフィー	8	10
持分法による投資損失	—	0
為替差損	27	15
その他	18	24
営業外費用合計	94	79
経常利益	916	119
特別利益		
投資有価証券売却益	4	507
受取保険金	38	68
特別利益合計	42	575
特別損失		
減損損失	—	14
固定資産除却損	7	7
投資有価証券評価損	42	—
災害による損失	53	6
特別損失合計	103	29
税金等調整前当期純利益	855	665
法人税、住民税及び事業税	303	221
法人税等調整額	12	49
法人税等合計	315	270
当期純利益	540	394
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	18	△3
親会社株主に帰属する当期純利益	521	398

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	540	394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△231	2,316
繰延ヘッジ損益	△11	△13
為替換算調整勘定	△26	△9
退職給付に係る調整額	△109	297
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△1
その他の包括利益合計	△378	2,589
包括利益	161	2,984
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	144	2,990
非支配株主に係る包括利益	16	△5

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	857	760	10,729	△87	12,259
当期変動額					
剰余金の配当			△310		△310
親会社株主に帰属する当期純利益			521		521
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	211	△0	211
当期末残高	857	760	10,940	△87	12,470

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	5,091	7	21	0	5,121	104	17,484
当期変動額							
剰余金の配当							△310
親会社株主に帰属する当期純利益							521
自己株式の取得							△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△231	△11	△24	△109	△377	19	△357
当期変動額合計	△231	△11	△24	△109	△377	19	△146
当期末残高	4,859	△3	△2	△109	4,743	123	17,337

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	857	760	10,940	△87	12,470
当期変動額					
剰余金の配当			△124		△124
親会社株主に帰属する当期純利益			398		398
自己株式の処分		0		1	1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	－	0	274	1	275
当期末残高	857	760	11,214	△86	12,746

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,859	△3	△2	△109	4,743	123	17,337
当期変動額							
剰余金の配当							△124
親会社株主に帰属する当期純利益							398
自己株式の処分							1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,316	△13	△9	297	2,591	△5	2,585
当期変動額合計	2,316	△13	△9	297	2,591	△5	2,861
当期末残高	7,175	△17	△11	188	7,335	117	20,199

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	855	665
減価償却費	213	226
のれん償却額	12	12
減損損失	—	14
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	2
品質保証引当金の増減額 (△は減少)	60	△35
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	△80	△35
長期未払金の増減額 (△は減少)	0	△28
受取利息及び受取配当金	△228	△171
支払利息	39	28
持分法による投資損益 (△は益)	△11	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4	△507
投資有価証券評価損益 (△は益)	42	—
売上債権の増減額 (△は増加)	540	1,677
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△289	864
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,615	△1,028
受取保険金	△38	△68
災害による損失	53	6
その他	88	50
小計	△1,369	1,685
利息及び配当金の受取額	229	171
利息の支払額	△39	△29
法人税等の支払額	△413	△204
保険金の受取額	38	68
災害による損失の支払額	△22	△6
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,577	1,684
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△84	△76
投資有価証券の売却による収入	15	588
固定資産の取得による支出	△347	△364
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△1	7
長期貸付けによる支出	△36	△10
長期貸付金の回収による収入	19	20
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△434	164
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△104	△71
長期借入れによる収入	50	500
長期借入金の返済による支出	△50	△500
リース債務の返済による支出	△39	△43
配当金の支払額	△310	△124
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△453	△238
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24	△17
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,489	1,593
現金及び現金同等物の期首残高	6,964	4,474
現金及び現金同等物の期末残高	4,474	6,067

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取り扱う商品・サービス別に事業展開しており、「塗料関連事業」及び「電気・電子部品事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「塗料関連事業」は、塗料・表面処理剤、化成品・物質及び塗料・計測機器等の販売、塗装ラインに関連する工事をしております。「電気・電子部品事業」は、ホールIC及びLED照明製品等の販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、たな卸資産の評価基準を除き、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

たな卸資産の評価については、収益性の低下に基づく簿価切り下げ前の価額で評価しております。報告セグメントの利益は、営業利益をベースとした数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	塗料関連事業	電気・電子部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	49,290	15,217	64,508	—	64,508
セグメント間の 内部売上高又は振替高	56	520	576	△576	—
計	49,347	15,737	65,085	△576	64,508
セグメント利益	2,210	191	2,401	△1,665	736
セグメント資産	24,016	5,737	29,754	11,875	41,629
その他の項目					
減価償却費	116	38	154	59	213
のれんの償却額	12	—	12	—	12
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	208	28	237	118	355

(注) 1. (1)セグメント利益の調整額△1,665百万円は、主に各報告セグメントに配分していない会社の本社部門に係る費用であります。

(2)セグメント資産の調整額11,875百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社の現金及び預金、投資有価証券であります。

(3)減価償却費の調整額59百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

(4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額118百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結損益計算書 計上額 (注) 2
	塗料関連事業	電気・電子部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,170	13,450	54,621	—	54,621
セグメント間の 内部売上高又は振替高	46	522	568	△568	—
計	41,216	13,972	55,189	△568	54,621
セグメント利益又は損失(△)	1,404	124	1,529	△1,603	△74
セグメント資産	22,217	5,385	27,602	16,960	44,563
その他の項目					
減価償却費	122	45	167	58	226
のれんの償却額	12	—	12	—	12
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	105	3	109	431	540

(注) 1. (1)セグメント利益又は損失の調整額△1,603百万円は、主に各報告セグメントに配分していない会社の本社部門に係る費用であります。

(2)セグメント資産の調整額16,960百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社の現金及び預金、投資有価証券であります。

(3)減価償却費の調整額58百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

(4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額431百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,664円34銭	1,941円09銭
1株当たり当期純利益金額	50円41銭	38円51銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	521	398
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	521	398
普通株式の期中平均株式数 (株)	10,343,029	10,344,665

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	17,337	20,199
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	123	117
(うち非支配株主持分) (百万円)	123	117
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	17,214	20,081
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数 (株)	10,343,015	10,345,623

(重要な後発事象)

該当事項はありません。